

令和3年度第4回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和3年10月5日(火)午前10時～午前11時33分
- 2 場 所 ほっとプラザ5階会議室
- 3 出席委員 高田委員長、濱西副委員長、貝原委員、栢野委員、岸委員、杉本委員、藤田委員、光岡委員
(欠席:中塚委員、松井委員)
- 4 出席職員 (市民協働局)藤井次長、奥野参事監
(女性が輝くまちづくり推進課)安東課長、藤原担当課長、繁定課長補佐、神崎主査
- 5 傍聴者 1人
- 6 次 第
 - (1)市民協働局次長挨拶
 - (2)議事
 - ①第5次さんかくプランの策定について(資料1)
 - ②第5次さんかくプランワークショップの開催報告及び重点的な取組について(資料2)
 - (3)その他
- 7 配付資料
 - 資料1 第5次さんかくプラン素案
 - 資料2 第5次さんかくプランワークショップ開催報告
(さんかく岡山主催事業チラシ)
 - ・ピンクリボン講演会「あなたや大切な人が乳がんになったら-知っておきたい治療の最前線-」
 - ・PINK RIBBON 女性のからだとセクシャリティ殿村任香写真展 10.8Cancerbeauty
 - ・パープルリボンセミナー インTRODクシヨソ
 - ・パープルリボンセミナー(3回シリーズ)講演会
- 8 会議の状況
 - (1)市民協働局次長挨拶
 - ・前回会議では、基本理念から施策の方向性までご承認いただき、具体的施策や数値目標、成果指標についてご意見をいただいた。本日は、それらと併せて市民ワークショップでの意見も踏まえて作成した素案についてご審議いただきたい。
 - (2)議事
 - 議事①** 第5次さんかくプランの策定について
 - 説明内容
資料1について事務局から説明。
 - 意見等
 - ・基本目標5「災害対応における男女共同参画の促進」の成果指標に女性消防団員数、女性防災士の割合をあげているが、防災組織に占める女性の割合など、それに合うような成果指標が入るといいと思うが、難しいのか。災害が起きた時の避難所運営が女性も参

- 画して行われるかが重要なので、危機管理室には把握できるようにしてもらいたい。
- 自主防災組織における女性の割合は成果指標として使いたかったのが危機管理室と協議したが、自主防災組織の届け出は受けているものの、組織のメンバー表の提出まで求めているため、女性割合を把握できないこと、また自治組織であるため、市がメンバーの4割を女性にするよう言う訳にもいかない等の理由から、成果指標にするのは難しい。なお、市の防災会議については、以前の専門委員会で4割を下回っていたため審議し、担当課に説明を求めたことがあるが、現在は4割を超えている。
- ・以前の会議で要望していた町内会の補助金申請に際し、男女共同参画の観点から運営メンバーを選出するような内容が主な事業に加えられていることは良かったが、成果指標にも表されると良いと思う。各区役所の総務・地域振興課が区づくり事業をしているが、その募集要項に運営メンバーへの女性の参画について一文入れることは難しいか。
- 各区役所で行っている区づくり事業の要項を所管しているのが市民協働企画総務課であり、要項に一文加えることで調整済みである。
- ・消防団に補助金を出しているのであれば、消防団を組織するときには防災士の資格を持った女性を加えるよう働きかけても良いのでは。
- (消防団の所管課である消防企画総務課に後日確認した内容)消防団への女性の加入の促進について、消防団活性化計画の中で女性が活動しやすい環境づくり等、消防局として取り組んでいる。(なお、防災士資格については、日本防災士機構が男女問わず分団長以上の職歴を持つ団員を対象とする特例制度を設けて取得を促進している。)
- ・数値目標「市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数」が上がっているが、回数で評価することにどんな効果があるのか分からないのだが、どのように考えているのか。
- 数値目標は行政が事業を行う上で目標とする数値。毎年これだけは啓発しようという目標で、どういう効果があったかを見るものではない。この数値目標は第4次さんかくプランから引き続き採用している。
- ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツは世界共通の重要なテーマで、日本が遅れているところ。33ページに初めて出てくるが、もっと上の層に入れることができないか。また、県の女性健康支援センターのような女性の健康に特化した担当部署があるのか。
- 県のような部署はない。
- ・基本目標6で「DVや性暴力・性犯罪の防止と被害者支援」の中で出てくる「DV」に「など」が付いていない。DV防止法等でも「DVなど」となっている。
- (会議後に確認)DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)を確認したが、「DV」にあたる「配偶者からの暴力」に「等」の文言は付いていない。なお、第5次さんかくプランにおいては、「DV」のほか「デートDV」、「性暴力・性犯罪」を含む文脈では「DV等」の表記を用いている。(素案48ページ7行目)
- ・若年女性の視点がプランに1か所も見えない。(48ページや52ページには「若年層」という言葉は出てくる。)コロナ禍で学校などどこにもつながっていない若年女性が問題だと思うので入れるべき。そのような実態を把握する事業も必要かと思う。
 - ・基本目標8か9に、岡山市内の民間企業の管理職割合がどのように推移しているかを表すグラフがあると、状況が分かって良い。

議事② 第5次さんかくプランワークショップの開催報告及び重点的な取組について

○説明内容

資料2について事務局から以下の内容を説明。

- ・9月に3回開催した市民ワークショップで9つの基本目標のうち、特に大切だと思うものを選んでもらったところ、「2. 固定的な性別役割分担意識の解消」「4. 困難を抱える女性への支援」「9. 政策・方針決定過程への女性の登用と参画拡大」が上位3つに選ばれた。

- ・空欄になっている13ページには、基本目標の中から重点的に取り組むものを挙げていきたいので、ご意見をお願いしたい。

○意見等

- ・基本目標1, 2は大前提としてとても大事。私は9が非常に大事だと思っている。ワークショップでの意見に異論はない。
 - ・継続していくものと、その時重点的にするものがある。基本目標5は重点目標として入れてほしい。
 - ・基本目標1について。「ジェンダー」という言葉が浸透しつつある。行政はあまり「ジェンダー」を使わないが、分かりやすい国際用語なので、積極的に使うべきではないか。
 - ・ワークショップでの意見の中で、若者を加害者にしない取組が必要とあるが、無知がゆえに加害者なるということが問題だと思うので、早めの教育など大人が関わることが大事だと思う。
 - ・重点目標6のDVや性犯罪被害者支援が得票1だが、ワークショップの参加者がそういった問題から遠い人が多かったのかなという気がする。(6が入っている)基本理念Ⅱは「住みよいまち、住みたいまち」の「安心して暮らせる社会」の基礎となるので外せないと思う。
 - ・基本目標4や6は早く取り組んだ方がいいと思う。8, 9は会社で何かやらないといけないと分かっているができないところも多いと思うので、市が推奨することで進んでいくかと思う。
- 基本目標2, 4, 9については重点的に取り組んで行きたいと思う。得票数は少なかったがDVや性暴力・性犯罪防止は大切な部分なので引き続き取り組んで行きたい。先日開催した女性活躍推進協議会では、メンバーの商工会議所の方からは非正規雇用の労働者の状況が厳しいとのご意見もあった。ワークショップ、この会議、推進協議会でのご意見を基にこの重点的な取組について記載していきたい。
- ・表記等についてのご指摘は、後日ペーパーでいただくことに。

(3) その他

- ①次回(第5回)開催予定→11月8日(月)で調整、欠席者に確認し、後日連絡
- ②さんかく岡山主催事業について藤原館長よりチラシの説明